

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 12 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-13	実施事業	生涯学習センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター管理業務補助嘱託員の配置や事務用消耗品の購入など、生涯学習センターの運営に必要な事務を行った。 生涯学習センターの総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理を行った。 鎌倉生涯学習センターについて、耐震改修工事及び工事監理業務委託に着手し、継続費年割分の残額を翌年度に運次繰越した。 鎌倉生涯学習センター空調機冷媒漏れ修繕は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	472,875人		257,578人				
運営資源状況	決算値(千円)	159,200	150,491	当初予算(千円)	188,246		
	国県支出金		34,628	国県支出金	19,443		
	地方債		19,200	地方債	38,800		
	その他	35,437		その他	49,452		
	一般財源	123,763	96,663	一般財源	80,551		
事業経費運営	人員配置数	5.1	4.7	人員配置数	4.8		
	人件費(千円)	40,007	37,733	人件費(千円)	73,285		
	総事業費(千円)	199,207	188,224	総事業費(千円)	261,531		
	市民1人当りの経費(円)	1,130	1067	市民1人当りの経費(円)	1,481		
	対象者1人当りの経費(円)	421	731	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	<input type="radio"/> 1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
	協働	<input type="radio"/> 市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 管理・運営体制の見直しを検討していく。 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	総合的、計画的な視点を踏まえつつ、適正な維持管理・運営体制の見直しを検討していく中で、費用対効果も十分検証していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる生涯学習社会の実現のため、計画的な維持修繕に努め、快適に学べる施設の整備充実を図っていく必要がある。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	・耐震改修工事については、1日も早い再開館を目指し、円滑な工事工程の作成や修繕等について調整を要する。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・耐震改修工事を継続したが、工事工程の変更等が生じた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・再開館が延長した。 ・コロナ禍における学校開放施設の運用について、校長との調整等が必要となった。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学習センター利用者数	単位	千人	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	耐震改修工事による施設の一部使用休止のため、目標値を変更した。
生涯学習の振興状況を計るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0	600.0	285.0	
	実績値	627.0	560.0	535.0	538.0	473.0	258.0	
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%	90.4%	78.8%	90.5%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--